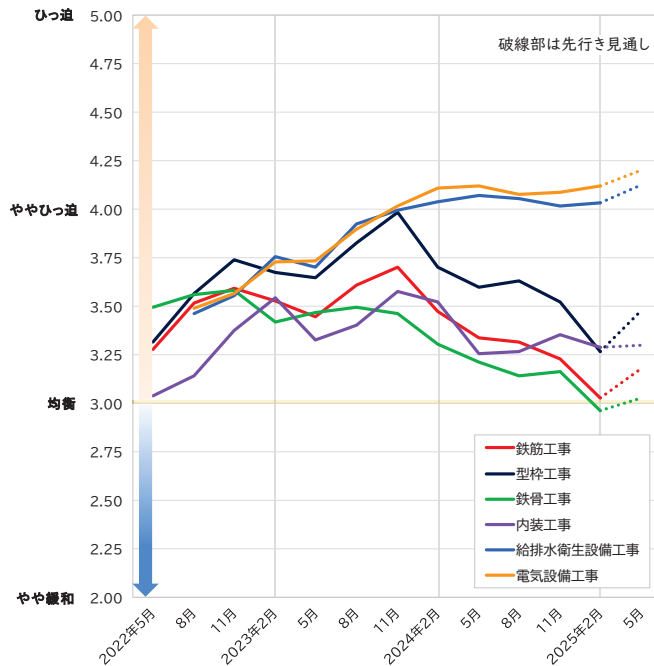


労務需給調査 工事別の概況

建築・設備工事は電気設備工事・給排水衛生設備工事で引き続きひっ迫感強まる見通し
～土木工事は6職種全てで不足感が強まる見通し～

建築・設備工事の労務需給の推移(全国)



労務需給の状況

全国平均では、建築工事の「現況」は、内装工事はほぼ横ばいだが、鉄筋工事・型枠工事・鉄骨工事は工事費高騰などによる工期見直しや延期の影響からひっ迫度合いがやや弱まっている。「先行き」はひっ迫感がやや強まる見込み。設備工事は「現況」、「先行き」とともにひっ迫傾向が強まっており、緩む気配は見られない。

調査年月	鉄筋工事	型枠工事	鉄骨工事	内装工事	給排水衛生設備工事	電気設備工事
2022年 5月	3.28	3.32	3.50	3.04		
2022年 8月	3.52	3.56	3.56	3.14	3.46	3.49
2022年 11月	3.59	3.74	3.58	3.37	3.55	3.57
2023年 2月	3.53	3.67	3.42	3.55	3.76	3.73
2023年 5月	3.45	3.65	3.47	3.33	3.70	3.74
2023年 8月	3.61	3.83	3.49	3.40	3.92	3.90
2023年 11月	3.70	3.99	3.46	3.58	4.00	4.02
2024年 2月	3.47	3.70	3.31	3.53	4.04	4.11
2024年 5月	3.34	3.60	3.21	3.26	4.07	4.12
2024年 8月	3.31	3.63	3.14	3.27	4.05	4.08
2024年 11月	3.23	3.52	3.17	3.35	4.02	4.09
2025年 2月	3.03	3.27	2.96	3.29	4.03	4.12
2025年 5月	3.18	3.48	3.03	3.30	4.12	4.21

※給排水衛生設備工事、電気設備工事は2022年8月より調査開始

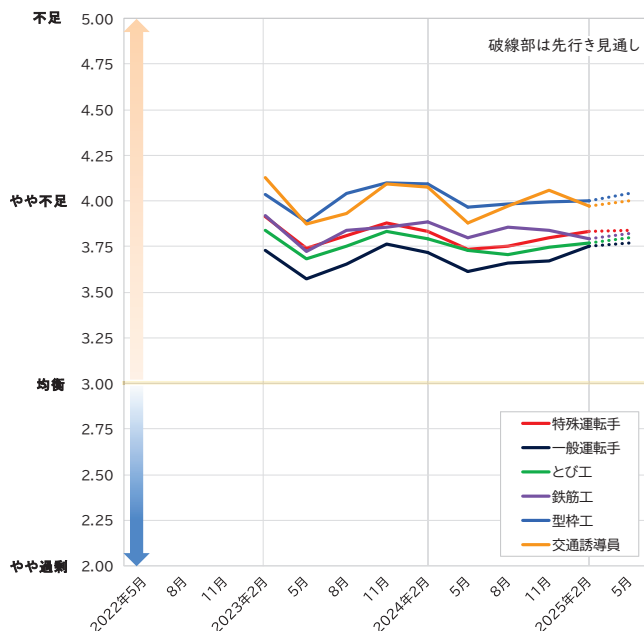
※調査方法：所定の項目に対して、回答者が次の5段階で評価、判断して回答する

[5段階評価 1:緩和 2:やや緩和 3:均衡 4:ややひっ迫 5:ひっ迫]

※内装工事は、軽量鉄骨下地工事、内装ボード工事、内装床工事を対象としている

※2025年5月は先行き見通しを示す

土木工事の労務需給の推移(全国)



労務需給の状況

土木工事の「現況」は、全般的に「やや不足」。前回調査時と比べ、特殊運転手・一般運転手・とび工・型枠工の4職種で小幅ながら不足感を強める結果となった。「先行き」については、需給が緩む気配は見られないことから、6職種全てで「やや不足」の状況が継続する見通し。

調査年月	特殊運転手	一般運転手	とび工	鉄筋工	型枠工	交通誘導員
2023年 2月	3.91	3.73	3.84	3.92	4.04	4.13
2023年 5月	3.74	3.57	3.68	3.72	3.89	3.87
2023年 8月	3.81	3.65	3.75	3.84	4.04	3.93
2023年 11月	3.88	3.76	3.83	3.85	4.10	4.09
2024年 2月	3.83	3.72	3.79	3.89	4.09	4.07
2024年 5月	3.73	3.61	3.73	3.80	3.97	3.88
2024年 8月	3.75	3.66	3.71	3.85	3.98	3.97
2024年 11月	3.80	3.67	3.75	3.84	3.99	4.06
2025年 2月	3.83	3.75	3.77	3.79	4.00	3.97
2025年 5月	3.84	3.77	3.80	3.82	4.04	4.00

※2023年2月より調査開始

※調査方法：所定の項目に対して、回答者が次の5段階で評価、判断して回答する

[5段階評価 1:過剰 2:やや過剰 3:均衡 4:やや不足 5:不足]

※2025年5月は先行き見通しを示す

建築施工単価、土木施工単価の発刊に合わせ、年4回工事業者を対象に実施する「労務需給調査」の詳細結果については、当会ホームページの『けんせつPlaza』(<https://www.kensetsu-plaza.com/questionnaire>)をご参照ください。



お問い合わせ先



一般財団法人 経済調査会

建築・設備工事：建築統括部

土木工事：研究成果普及部

☎03-5777-8217

✉juku@zai-keicho.or.jp

☎03-5777-8212

✉roumujuku@zai-keicho.or.jp